

野田小学校だより 第2号

南風の丘から

校長 雪野正三

入学おめでとう！

八日（金）、春の陽光降りそそぐ中、五人の新一年生を迎える

「入学式」を挙行いたしました。

式場に入場してきた五人は、

やや緊張気味でしたが、にこやかな表情で、とても可愛らしかったです。

一人ひとりの担任から名前を呼ばれ、元気に返事ができました。三十分間の式の間中、ずっと落ち着いて座っていました。

六年生「大野 礼」さんが歓迎の言葉を述べました。堂々としていて立派でした。

昨日から集団登校を始め、上級生に見守りながら、元気に歩いてきています。

始業式で話したこと

始業式で、子どもたちに話したことについてお伝えします。

桜の木を見たときに、話したことを思い出してくれるといいなと思っています。



「桜の花は、始業式を待たずに散ってしまいました。花が散ると桜は終わり、とよく言いますが、実は、また来年の春に花を咲かせるための準備を始めています。枝先をよく見ると、葉が出はじめています。やがて葉は茂り、日の光を浴びて栄養をどんどんつくります。その栄養は桜の木に送られ、蓄えられます。葉は、秋から冬にかけて全て散ってしましますが、翌年の春、葉がつくったたくさん栄養のおかげで、また、花を咲かせることができるのです。

桜のことをみなさんに置き換えて考えてみましょう。一年後、みなさんはどんな子に、どのように成長していたいですか。つまり、自分の花を咲かせたいですか。立派な花を咲かせるためには、桜のように、時間をかけて準備しなければなりません。今日から始まる一年、日々の勉強や運動をがんばり、友だちと仲良く過ごしてください。時には悩んだり迷ったりするのもいいでしょう。そういった日々の積み重ねが、自分を大きく成長させるための準備となるのです。」

この後、野田小学校がめざす「三つの児童像」を確認し、私の話を終わりました。子どもたちの聴く態度はよく、感心しました。一年後が楽しみだとも思いました。

代表三人の決意表明

始業式で三人の児童が、作文発表をしました。それぞれが、がんばりたいことをしっかりと伝えました。ご紹介します。

「二年生でがんばりたいこと」 門畑みさと

わたしが、二年生でがんばりたいことが、三つあります。

一つ目は、さんすうのべんきょうです。かけ算九九をぜんぶいえるように、がんばりたいです。

二つ目は、なわとびです。二じゅうとびを三十かいいじょうとべるように、いえでも、れんしゅうをがんばります。

三つ目は、あたらしい一年生がわからないときに、やさしくおしえてあげたいです。三つのことが、できるように、二年生でもがんばりたいです。



「四年生でがんばりたい事」 山本 悠人

四年生でがんばりたい事は三つあります。一つ目は、なわとび大会です。三年生では、あやとびとかけ足とびができるようにな

日 ったから、四年生になったら、かけあやどび
1 2 と、うしろあやどびができるようになりたい
月 です。かけあやどびとうしろあやどびが、で
4 年 きるようになったら、二年生で、できなかつ
4 年 たにじゅうどびもできるようになりたいで
和 令す。

二つ目は、プールです。二年生のときは、
もぐれなかったけど、三年生になってもぐれ
るようになったからうれしかったです。ま
た、四年生になったら、泳げるようになりた
いです。

三つ目は、マラソン大会です。
さいしょは十位だったけど、三年
生になって七位になれたから、四
年生では五位になれるようにがん
ばりたいです。



「六年生でがんばること」

松本なるみ

私が六年生でがんばること
は、みんなを引っ張っていく
ことです。



「野田小学校だより」
私は、五年生のとき、六年
生に頼っていました。今年は
最高学年です。運動会や遠足、
砂の造形など、いろいろな行事で、私たちが
みんなを引っ張っていかないとけません。
だから、下級生の手本になれるように、自分

から考えて、行動していきたいと思います。
そして、まず、行動などで、声を出したり
指示を出したりするとき、下級生に伝わる
ような声を出すことを心がけたいです。

学年の代表で、作文発表した三人の子ども
たち。話し方も声も大変よかったです。春休
み中に何回も練習をしたことと思います。そ
の見えない努力に拍手。